

## **8 日本リメディアル教育学会**

http://www.jade-web.org/

発行人 寺田 貢

2016(平成)28年9月5日発行

ニューズレター No.89

日本リメディアル教育学会, ニューズレターNo.89 をお届けいたします。今回は.

- (1)第 12 回全国大会開催報告
- (2)2016(平成 28)年度第1回理事会開催報告
- (3)総会開催報告
- についてお知らせいたします。

#### 第 12 回全国大会開催報告

第 12 回全国大会は, 2016 年 8 月 23 日~25 日の会期で大阪国際大学において開催されました。この場を借りて, 素晴らしいキャンパスを会場としてご提供くださった大阪国際大学様に深く御礼申し上げます。

大会テーマを「教科の世界から学問の世界へ導く高大接続」とし、大会 2 日目に、独立行政法人 大学入試センター 試験・研究統括官 大塚雄作先生による基調講演「高大接続と入試改革について」、大阪府立西成高等学校の稲葉勇介先生、大阪府立茨木高等学校の入交享子先生、大阪国際大学の栃澤健史先生にご登壇いただいた現地企画「高大接続に関わる教育現場での実践」、コーディネーターとして島根大学の御園真史先生、パネリストとして学校法人追手門学院の椋本洋先生と高崎経済大学の高松正毅先生をお迎えしたパネルディスカッション「教科の世界から学問の世界へ導く高大接続について考える」を実施しました。

また、専門部会による企画として、理数系部会、日本語部会、英語部会 2 件および学習言語部会の合計 5 件のラウンドテーブルやワークショップが行われました。さらに、編集委員会&大会プログラム委員会のコラボ企画として、「記事投稿・査読システムの稼働について&予稿の書き方」も行われました。全国大会の大きな柱である一般発表には、多くの会員から応募をいただき、審査の結果、47件の口頭発表と 11 件のポスター発表がありました。ポスター発表には現地企画の高大接続に関するものが 6 件も加えられました。

大会当日は,事前に参加を申し込んだ 115 名に加え,当日参加された方が 99 名おられ, 賛助会員 48 名で,合計 262 名の参加者を迎え,各会場で熱心な討論が交わされました。

大会2日目終了後には、学内のレストランで情報交換会があり、リ

メディアル教育に関心を持つ 109 名が会場に集いました。大会に出席した会員に加え、展示企業からも大勢ご参加いただき、相互の 懇親を深める機会となりました。



ポスター発表会場の様子

最後に、本大会の開催にご協力くださいました多くの方々に御礼 申し上げます。

#### 2016(平成 28)年度第 1 回理事会開催報告

8月23日に2016(平成28)年度第1回理事会が, 大阪国際大学1号館4階1-411室で開催されました。

理事会では、学会の運営状況に関する事項について審議・報告 が行われました。議事の概要を以下に示します。

#### 【審議事項】

1. 会長・業務執行理事の業務報告

会長,編集委員長,全国大会企画委員長から前回の理事会以降 の業務について報告がありました。

2. 2015 年度事業報告(案), 2016 年度事業計画(案) 会長から, 事業報告と事業計画について報告され, 審議の結果,

別紙のように一部修正を行うことで承認されました。

3. 研究活性化支援制度について

会長から、会員による新規研究テーマの立ち上げや専門部会・支部会の研究会の開催のために活用する支援制度が提案されましたが、審議の結果、継続審議とされました。

4. 2015 年度決算(案), 2016 年度予算(案)



# **& 日本リメディアル教育学会**

会長から, 決算と予算について報告され, 審議の結果, 別紙のように一部修正を行うことで承認されました。

#### 5. 全国大会企画委員会

小松川全国大会企画委員長から、委員会の活動について説明され、来年度の全国大会の会場校が、日本文理大学(大分県)に決まったことが報告されました。さらに、第 13 回全国大会実行委員長を吉村理事に依頼することとなりました。日程は、2017 年 8 月 23 日から 25 日と決まりました。

#### 6. 会誌編集委員会

長尾編集委員長から、会誌の発行と委員会の活動について説明されました。Web 上の投稿システムを9月1日から稼働させること、電子ジャーナルのプラットフォームである J-Stage について、運用開始の予定について紹介がありました。

7. 2016(平成 28)年度定期総会次第(案)

会長から定期総会の次第が提案され、審議の結果、一部改訂し、 8月24日の総会での次第とすることとしました。

8. 役員候補者選出選挙の予定

会長から来年度実施する役員候補者選出選挙の予定と概要が説明されました。

9. 研究活性化支援制度および表彰制度について

会長から両制度について、今後の対応について紹介がありました。

#### 10. 会則の細則(案)

会長からホームページに掲載されている細則について、一部修正 を要する箇所があることとその修正案が紹介されました。審議の結 果、一部の項目について修正したものを、学会ホームページに公 開することとしました。

#### 11. その他

会長から, 吉岡理事より所属変更により理事を辞退することの申 し出あったことが紹介されました。審議の結果, 辞退を承認し, 総 会での審議事項とすることとなりました。

学会ホームページに CMS を導入することについて, 見積書を確認し, 今後検討することとなりました。

将来構想担当の小松川副会長より、来年度の改選に備えて、次期以降の学会のあり方や体制について今後検討していくことが提案され、承認されました。

#### 【報告事項】

1. 第8回関西支部大会開催報告

児玉関西支部会支部長から、3 月に開催された支部大会について報告されました。

2. 支部大会開催予定

加藤東北支部会支部長および児玉関西支部会支部長から,支部 大会を開催する予定であることが報告されました。

3. 会員動静

会長から,7月31日現在の会員数として,正会員648人,大学会員30校,賛助会員37社であることが報告されました。また,8月8日現在の会費未納者の一覧(非公開資料)について紹介され,会費未納の総額が1,438,000円に及ぶことが報告されました。

#### 総会開催報告

総会は、8月24日に開催され、以下の点について、それぞれ報告 または審議が行われました。

#### 【報告事項】

1. 2015(平成 27)年度事業報告

資料に従い、2015年度の事業について報告されました。

#### 【審議事項】

1. 2015(平成 27)年度決算

資料に従い、2015 年度の決算について説明され、総会出席者により承認されました。

2. 2016(平成 28)年度事業計画 · 収支予算

資料に従い、2016 年度の事業計画と予算について説明され、総 会出席者により承認されました。

3. 会誌「リメディアル教育研究」の電子ジャーナル化と冊子の年間 1 回発行への移行

学会誌の発行について、J-Stage をプラットフォームとした電子ジャーナル化による速報性の改善、電子版の論文を掲載する冊子体を年1回発行に移行することについて説明され、総会出席者により承認されました。

#### 4. 理事の解任

吉岡理事からの理事の辞退の申し出を受け、任期途中ではあるが、退任いただくことについて説明され、総会出席者により承認されました。



# 心 日本リメディアル教育学会

#### 会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、 教材や教授法の開発と評価, 実践の報告などについての原稿を募 集します。 投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限ります(編 集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載するこ ともあります)。 掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会 において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしま せん。

> 【文責】寺田 貢 【編集】大野 早苗

## 日本リメディアル教育学会 2015 (平成 27) 年度事業報告書 (2015 年 4 月 1 日~2016 年 3 月 31 日)

#### I. 事業活動

- 1. 学術集会等の開催(会則第3条第1号、第4号)
- (1) 第 11 回全国大会

2015年8月28日~30日、北星学園大学において開催した。(参加者232名)

- (2) 第4回関東・甲信支部会 支部大会2015年11月28日に江戸川大学において開催した。
- (3) 第8回九州・沖縄支部会 支部大会 2015年12月19日に福岡大学において開催した。
- (4) 第8回関西支部会 支部大会 2016年3月22日に京都三大学教養教育研究・推進機構において開催した。
- 2. 学術雑誌等の発行又は公表(会則第3条第2号、第4号)
  - (1) 学会誌『リメディアル教育研究』 第 10 巻第 1 号(発行日 2015 年 3 月 31 日) と第 10 巻第 2 号(発行日 2015 年 10 月 31 日)を発行し、会員に発送した。
  - (2) ニューズレター No.67~No.76 を発行した。
- 3. 国内外の関連学術団体との連携及び協力(会則第3条第3号、第4号)
  - (1) The National Association for Developmental Education (NADE)との連携 酒井志延会員が、NADE の Official publication である Journal of Developmental Education の編集委員を委嘱されている。
  - (2) NII の電子図書館事業への参加 NII 論文情報ナビゲータ CiNii による会誌の電子ジャーナル化を進め、第 1 巻から第 9 巻第 1 号まで公開されている。
  - (3) 教育学関連学会連絡協議会への参加 会長の寺田 貢が、学会を代表して総会・シンポジウム(2016年3月19日、学習院大学) に参加した。
- 4. その他本会の目的を達成するために必要な事業(会則第3条第5号)
  - (1) 全国大会企画委員会による全国大会運営 全国大会の開催に当たり、全国大会企画委員会が現地実行委員会と連携し、(株)国際文献社に大会ヘルプデスク業務を委託して、運営を行う体制で、第11回全国大会を開催した。
  - (2) (株)国際文献社との委託契約継続 事務局等の業務を、(株)国際文献社に委託した。
  - (3) (株)ミドリ印刷の編集業務委託 会誌編集の事務業務を、(株)ミドリ印刷に委託した。

#### Ⅱ. 総会、理事会の開催状況

#### 1. 総会

(1) 定時総会

2015 年8月29日、北星学園大学において開催した。

#### 2. 理事会

(1) 理事会 (2015(平成 27)年度第 1 回) 2015年8月28日、北星学園大学において開催した。

(2) 理事会 (2015(平成 27)年度第 2 回) 2015年8月30日、北星学園大学において開催した。

(3) 理事会 (2016(平成 28)年度第 3 回) 2016年3月21日、京都三大学教養教育研究・推進機構 教養教育共同化施設において 開催した。

#### Ⅲ. 会員の状況

#### 1. 2015 年度の会員異動

	前期末会員数*	当期入会数	当期退会数	当期末会員数
正会員	610名	83名 (うち復会 4名)	59名	634名
大学会員	31 団体	1 団体	3 団体	29 団体
賛助会員	37 団体	1 団体	1団体	37 団体

#### Ⅳ. 規程等

1. 会則の細則を制定した。

以上

### 予算対比正味財産増減計算書 平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

日本リメディアル教育学会 科 目	1日から平成28年 3月3   予算額	決算額	(単位:円) 差 異
一般正味財産増減の部	1. 34-113	<b>次</b> 异取	72 74
(1) 経常収益	3, 900, 000	3, 830, 000	70, 000
受取会費 正会員会費 	2, 400, 000	2, 520, 000	△ 120, 000
当年度会費	2, 400, 000	2, 424, 000	△ 24, 000
過年度会費		96, 000	△ 96, 000
大学会員	300, 000	290, 000	10, 000
当年度会費	300, 000	290, 000	10, 000
賛助会員	1, 200, 000	1, 020, 000	180, 000
	1, 200, 000	960, 000	240, 000
当年度会費 過年度会費	0	60, 000	△ 60,000
事業収益	240, 000	159, 041	80, 959
印税収益	200, 000	111, 041	88, 959
学会誌収益	40, 000	48, 000	△ 8, 000
会員	20, 000	6, 000	14, 000
非会員	20, 000	42, 000	△ 22, 000
全国大会収益	1, 500, 000	2, 228, 400	△ 728, 400
参加収益	900, 000	798, 000	102, 000
予稿集販売収益	540, 000	16, 000	△ 16, 000
賛助会員出展収益		543, 000	△ 3, 000
広告収益	60, 000	120, 000	△ 60, 000
情報交換会		465, 000	△ 465, 000
助成金その他	0	200, 000 86, 400	△ 200, 000 △ 86, 400
支部大会収益	280, 000	204, 018	75, 982
開催費用返却収益	210, 000	204, 018	210, 000
余剰金収益	70, 000		\(\triangle\) 134, 018
雑収益	500	29, 750	△ 29, 250
利息収益	500	1, 250	△ 750
雑収益	5, 920, 500	28, 500	△ 28, 500
経常収益計		6, 451, 209	△ 530, 709
(2) 経常費用 事業費	4, 283, 413	4, 890, 445	△ 607, 032
全国大会運営費	1, 437, 579	1, 811, 973	△ 374, 394
印刷製本費	436, 419	402, 077	34, 342
講演費	100, 000	100, 000	
参加証兼領収書作成費	93, 960	84, 240	9, 720
企業展示管理	32, 400	32, 400	0
ヘルプデスク	64, 800	64, 800	119, 213
消耗品・事務費	140, 000	20, 787	
会場設営運営費	200, 000	160, 920	39, 080
アルバイト費	300, 000	259, 310	40, 690
会議費	40, 000	148, 492	△ 108, 492
雑費	30, 000	26, 408	3, 592
情報交換会	0	465, 000	△ 465, 000
通信運搬費	0	47, 539	△ 47, 539
支部大会開催費	210, 000	190, 763	19, 237
委員会運営費	500, 000	1, 027, 645	△ 527, 645
専門部会運営費	500, 000	45, 000	455, 000
事務局活動費	100, 000	60, 000	40, 000
学会誌印刷費	1, 535, 834	1, 755, 064	△ 219, 230
第10巻1号編集	172, 800	172, 800	(
第10巻1号	669, 674	777, 762	△ 108, 088
第10巻2号	693, 360	804, 502	△ 111, 142
管理費	1, 687, 368	1, 968, 790	△ 281, 422
事務局委託費	1, 131, 408	1, 154, 602	△ 23, 194
会員業務委託費	686, 448	691, 080	△ 4, 632
発送関連業務委託費 会計業務委託費	250, 560	18, 562 250, 560	△ 18, 562
学会ホームページ費	194, 400	194, 400	△ 232, 950
理事会会議費	0	232, 950	
全国大会関係委託費	525, 960	544, 320	△ 18, 360
事務委託基本料	108, 000	108, 000	0
発表参加申込システム	140, 400	140, 400	Ö
大会ホームページ	64, 800	64, 800	
システム改良	172, 800 39, 960	172, 800	Ö
チラシ作成	30, 000	58, 320	△ 18, 360
雑費		19, 555	10, 445
通信費	0	17, 363	△ 17, 363
役員選挙経費	258, 269	201, 653	56, 616
経常費用計	6, 229, 050	7, 060, 888	△ 831, 838
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 308, 550	\triangle 609, 679	301, 129
評価損益等計	0	0	301, 129
当期経常增減額	△ 308, 550	△ 609, 679	
2. 経常外増減の部	△ 300, 330	△ 003, 079	301, 128
(1) 経常外収益 経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用 経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	301, 129
当期一般正味財産増減額	△ 308, 550	△ 609, 679	
一般正味財産期首残高	7, 134, 497	7, 134, 497	0
一般正味財産期末残高	6, 825, 947	6, 524, 818	
Ⅱ 正味財産期末残高	6, 825, 947	6, 524, 818	

### 財産目録

平成28年 3月31日現在

日本リメディアル教育学会 貸借対照表科目 (単位:円) 種別 詳細 金 額 (流動資産) 現金 20, 621 預金 普通預金 6, 974, 815 3, 972, 842 みずほ/会費用口座 みずほ/寄付金口座 3, 001, 973 郵便振替口座 816, 499 郵便振替口座 816, 499 流動資産合計 7, 811, 935 資産合計 7, 811, 935 (流動負債) 未払金 情報交換会余剰金 39, 117 1, 248, 000 前受会費 2016年度以降会費 流動負債合計 1, 287, 117 負債合計 1, 287, 117 正味財産 6, 524, 818

本決算書の監査を実施した結果、適正であることを認めます。 平成  $\mathfrak{J}$  年  $\mathfrak{I}$  月  $\mathfrak{L}$  日

監事

村上旅美丽

監事

廣田府里

### 日本リメディアル教育学会 2016 (平成 28) 年度事業計画 (案) (2016 年 4 月 1 日~2017 年 3 月 31 日)

#### I. 事業活動

- 1. 学術集会等の開催(会則第3条第1号、第4号)
- (1) 第12回全国大会2016年8月23日~25日、大阪国際大学において開催する。
- (2) 支部大会 各支部会の主催により必要に応じて開催する。
- (3) 専門部会 各専門部会の主催により必要に応じて開催する。
- 2. 学術雑誌等の発行又は公表(会則第3条第2号、第4号)
  - (1) 会誌「リメディアル教育研究」 第11巻第1号と第11巻第2号を発行する。
  - (2) ニューズレター 学会の動向について、会員に情報提供するため、必要に応じて発行する。
- 3. 国内外の関連学術団体との連携及び協力(会則第3条第3号、第4号)
- (1) The National Association for Developmental Education (NADE)との連携 酒井志延会員が、NADE の編集委員会の委員に委嘱されている。
- (2) NII の電子図書館事業への参加 NII 論文情報ナビゲータ (CiNii) による会誌の電子ジャーナル化を進める。
- (3) 教育学関連学会連絡協議会への参加
- 4. その他本会の目的を達成するために必要な事業(会則第3条第5号)
- (1) 他団体と協調した活動の推進 本学会と関連する分野を研究する学会など、他団体とのコラボレーションを推進する。
- (2) 会誌の電子版公開継続の検討 国立情報学研究所電子図書館事業(NII-ELS)の 2017 年 3 月事業終了に伴う CiNii に代わり、J-Stage による電子ジャーナル公開方法を検討する。
- (3) 会誌編集システムの導入・運用 会誌投稿原稿の査読を支援するシステムを導入し、運用する。
- (4) 研究活性化支援制度の検討 会員からの研究計画の提案に対し、助成する制度を設置し、予算化を検討する。
- (5) 表彰制度の検討 会誌投稿論文・全国大会および支部大会における、優れた研究発表に対する表彰制度 を設置する。

	I	 予算	ı	
	数量		合計	
寄付金口座残高	<b>次里</b>	- Imi	3, 001, 973	2016年3月31日現在
前期繰越(A)			4, 809, 962	2016年3月31日現在
Ⅰ. 収入の部				
<u>1. 会費収入</u> 正会員	600	4, 000	2, 400, 000	
大学会員	30	10, 000	300, 000	
賛助会員	40	30, 000	1, 200, 000	
(小計)			3, 900, 000	
2. 事業収入 印税収入			200, 000	
学会誌収入			200, 000	
会員	20	1, 000	20, 000	
非会員	10	2, 000	20, 000	
(小計) 3. 全国大会収入			240, 000	
参加費			1, 045, 000	第12回全国大会予算(4000*130+5000*15+5000*90)
<b>賛助会員出展費</b>	18	30, 000	540, 000	第12回全国大会予算
広告費	15	10, 000	150, 000	
予稿集販売	20	1, 000	20, 000	第12回全国大会予算
( <b>小計</b> ) 4. 支部会支部大会収入			1, 755, 000	
余剰金	7	10, 000	70, 000	
(小計)			70, 000	
5. 雑収入			F00	
利息 ( <b>小計</b> )			500 <b>500</b>	
収入合計(B)			5, 965, 500	
Ⅱ 支出の部			<u> </u>	
1. 事業費				
全国大会運営費			04 240	第10同众国士众圣符
参加証兼領収証作成 クレジット決済利用手数			84, 240 24, 696	
企業展示管理	1		32, 400	
ヘルプデスク(委託)			64, 800	第12回全国大会予算
予稿集作成			395, 750	第12回全国大会予算
講演料 会場費			100, 000 160, 920	
アルバイト代			250, 000	
振込・両替手数料			1, 712	第12回全国大会予算
推費			20, 787	
印刷費 郵送費			6, 327 47, 539	第12回全国大会予算 第12回全国大会予算
			108, 600	
支部会運営費	7	50, 000	350, 000	77EIII
委員会運営費	10	F0.000	500, 000	
専門部会運営費 事務局活動費	10	50, 000	500, 000 100, 000	
学会誌発行			100, 000	
第11巻第1号印刷・発送			693, 360	ミドリ印刷見積額 編集事務と最終原稿レイアウト含む
第11巻第2号印刷・発送			693, 360	ミドリ印刷見積額 編集事務と最終原稿レイアウト含む
J−Stage対応 謝礼など			120, 000 20, 000	ミドリ印刷見積額 ファイル作成とJ-Stageサーバへのアップロード
(小計)			4, 274, 491	
2. 事務局経費				
事務局委託費			000 440	京败 女 共 4. 日 4. 克
会員業務委託費 会計業務委託費			686, 448 250, 560	国際文献社見積額 国際文献社見積額
云川未伤安託貝   学会ホームページ	+ +			国際文献社見積額 国際文献社見積額
理事会経費			300, 000	理事会交通費
全国大会関係委託費			100 000	<u> </u>
事務委託基本料 システム利用(参加者)				第12回全国大会予算 第12回全国大会予算
大会ホームページ	+	+		第12回至国人会卫昇 第12回全国大会予算
チラシ作成				第11回全国大会決算書
会誌関係委託費			070 550	*# <b>\</b> P 1 to 0
投稿システム年間利用料 投稿システム初期導入費	· <b>H</b>		279, 552 324, 000	<u>杏林舎見積額</u> 杏林舎見積額:2016年度のみで来年度から不要
投幅ングアム初期等八負   雑費	. да			- 台州古兄慎領:2010年度のので木平度から小安 - 振込手数料等
(小計)			2, 418, 120	
予備費				
(小計) 古山合計(の)	<u> </u>		6 602 611	
<u>支出合計(C)</u> 収支(B) - (C)	+ +	-	6, 692, 611 <b>▲</b> 727, 111	
次期繰越(A) + (B) - (C		+	4, 082, 851	
	·		, :,	